

公益社団法人日本臨床細胞学会  
2018 年度第 3 回理事会議事録

日時：2019 年 3 月 23 日（土）10:00～13:00

場所：日本臨床細胞学会事務局会議室（地下 2 階）

役員総数：40 名（理事 38 名、監事 2 名）

出席総数：理事 33 名

（理事）青木 大輔，池田 徳彦，伊藤 仁，伊藤 潔，稲山 嘉明，井上 健，植田 政嗣，小笠原 利忠，岡本 愛光，小田 瑞恵，加来 恒壽，加藤 久盛，川本 雅司，九島 巳樹，小松 京子，齋藤 豪，佐藤 之俊，生水 真紀夫，白石 泰三，竹島 信宏，都築 豊徳，寺本 勝寛，内藤 善哉，中村 直哉，羽場 礼次，廣岡 保明，藤井 多久磨，前田 一郎，三上 芳喜，森井 英一，森谷 卓也，山城 勝重，横山 正俊

（顧問）長村 義之

（監事）佐々木 寛，土屋 眞一

（総務委員会幹事）小倉 豪，星 利良，松浦 基樹，山下 博，和田 直樹

（制度審議委員会委員陪席）丸 喜明

（会計士）中田 ちず子

欠席者：

（理事）石井 保吉，板持 広明，榎本 隆之，長尾 俊孝，八重樫 伸生

（総務委員会幹事）藤山 淳三，三宅 康之

（制度審議委員会委員陪席）平田 哲士

## 報告事項

### 理事長挨拶（青木大輔）

本理事会の開会に際し、青木理事長から来年度の事業計画・予算や学術集会のあり方・学術集会長の決め方などを中心に御討議頂きたい旨の挨拶が行われた。

### 副理事長報告

内藤副理事長（学術・編集・国際交流・IAC）、加来副理事長（認定試験・検査士・教育）、植田副理事長（専門医制度）、佐藤副理事長（総括・財務・渉外）から各種業務が適切に進められている旨の報告が行われた。

### 大会準備状況報告

第 60 回春期大会（竹島信宏、京王プラザホテル・NS イベントホール、2019 年 6 月 7 日（金）～9 日（日））、第 58 回秋期大会（森谷卓也、ホテルグランヴィア岡山・岡山コンベンションセンター、2019 年 11 月 16 日（土）～17 日（日））、第 61 回春期大会（佐藤之俊、パシフィコ横浜、2020 年

6月5日(金)～7日(日))、第59回秋期大会(伊藤仁、パシフィコ横浜、2020年11月21日(土)～22日(日))、第62回春期大会(生水真紀夫、幕張メッセ、2021年6月4日(金)～6日(日))に関して、それぞれ準備状況の報告が行われた。

### 前回議事録

前回(2018年度第2回理事会)議事録(一部修正あり)の確認が行われた。

### 2018年度総務庶務報告(2019年1月15日現在)

1. 全会員数：12,403名  
(正会員 5,600名, 準会員 6,584名, 名誉会員 41名, 功労会員 159名, 図書会員 19件)
2. 細胞診専門医および細胞診専門歯科医数：2,851名(実数)  
(認定：細胞診専門医 3,500名、細胞診専門歯科医 60名)
3. FIAC：106名 MIAC：30名
4. 細胞検査士数：7,550名(実数)(認定9,879名)
5. CT(IAC)：4,504名
6. 物故会員(2018年11月8日～2019年1月15日)  
功労会員 乾 裕昭(いぬい ひろあき) 殿((医)慈敬会乾マタニティクリニック)  
正会員 西村 啓介(にしむら けいすけ) 殿(宇治徳洲会病院 病理診断科)  
準会員 稲本 和男(いなもと かずお) 殿(三菱京都病院 病理)  
準会員 井上 陽一(いのうえ よういち) 殿(鹿児島厚生連病院 中央検査室病理)

黙禱

### 総務委員会(委員長 森井 英一)

#### [事業計画]

学会内、他学会、他団体との調整を行い、円滑に学会運営が行われるようにする。

#### [報告事項]

1. 日本医学会、日本医師会、厚生労働省、内閣府など関連他団体と臨床研究法、医療保険分野におけるAI活用、平成30年度医学生・研修医等をサポートするための会などに関する連携を行った。また、東京都から精度管理について学会が主導的に実施している好例として引用したいという申し出があり了承した(2018年9月4日～2019年1月15日)。
2. 学会事務局からの報告事項について  
(a) 「働き方改革関連法」の施行(2019年4月1日)により、以下の3点を実施するため1年間の仕事の計画を立て、就業規則も変更していく。
  - ① 年次有給休暇の確実な取得(使用者の年5日の付与義務)
  - ② 時間外労働の削減(月45時間、年360時間以内)
  - ③ 通常の労働者及び短時間労働者の職務の内容の把握(同一労働同一賃金)  
(b) 学会事務局の消防署立入検査で違反指摘されていた「消防計画」を作成し提出した。今後は、

日常の火災予防業務や万一の場合に円滑な行動ができるよう定期的に教育、訓練を実施していく。

3. 医療広告ガイドライン 2018：細胞診専門医の広告にあたり、会員および専門医の氏名の公表が必要である。会員氏名を掲載した名簿を公表するにあたり、会員個々に会費請求時にその旨を周知する文書を同封した。また、同時に地域連携組織に会員情報を提供することについても会員個々に会費請求時にその旨を周知する文書を同封した。文書の内容は顧問弁護士に相談した。
4. 学会年会費滞納者一覧（2019年2月22日入金者まで）：滞納者一覧の報告後、対象者に年会費滞納者である旨の声掛けを行って、滞納を解消することが奨励された。
5. 2019年度理事候補懇談会及び第1回理事会は2019年4月20日（土）にTKP 東京八重洲カンファレンスセンター ホール4Eで行われる。

〔審議事項〕

1. 細胞診の自己採取に関してHPに以下の文章を載せる予定であることについて：可決  
自己採取された子宮頸部細胞診検体は、形態判断が重要な役割を果たす細胞診に供する検体としては不適切であることが多いです（文献1－4）。このため、細胞診に供する検体としては自己採取を避けることを推奨します。

文献1 日本臨床細胞学会誌 34:16-20, 1995 文献2 Obstet Gynecol 102:266-272, 2003

文献3 総合健診 31:631-636, 2004 文献4 総合健診 43:560-566, 2016

2. 継続審議中であった学会事務局員の福利厚生費（慶弔金見舞金支払）について：可決
3. 報告事項3（地域連携組織に会員情報を提供すること）と関連して
  - (a) 地域連携に関する施行細則へ会員情報を共有する旨の文言を加えることについて：可決
  - (b) 個人情報管理に関する施行細則で個人情報開示を要請できる会員に地域連携組織会長を加えることについて：可決

情報処理委員会（委員長 伊藤 仁）

〔事業計画〕

学会ホームページの改善

〔報告事項〕

1. 情報開示の要請、ホームページへの掲載願いの対応を行った。
2. 種別・地域連携組織別マイページログイン率および地域連携組織別アドレス登録率
3. ホームページの改善について、メニュータブ「NEWS」を追加し、今までのイエローページの内容をそのまま移動した。
4. バナー広告の申し込みについて、申し込みがあった1社（工機ホールディングス株式会社）を掲載した。

〔審議事項〕

特になし

学術委員会（委員長 中村 直哉）

〔事業計画〕

1. 2019年 学会賞・技師賞・班研究課題、最優秀論文賞の募集及び選考を行う。
2. 学術集会あり方検討ワーキンググループの決定事項に従って、学術集会に対する助言を行う。

〔報告事項〕

1. 最優秀論文賞の応募について

2018年12月初旬より、イエローページおよびホームページに要項を掲載した。応募期間は2019年1月15日(火)から2月15日(金)であった。複数の応募があり、メール審議中である。引き続き選考手続きを行う。

2. 2019年12月18日(火)日本医師会大講堂で開催された平成30年度日本医学会分科会用語委員会に出席した。

3. 2019年5月5-9日オーストラリアシドニーで開催される2019 International Cytology Congress (ICC) に日本から参加し、演題を発表する方をサポートするために、「2019ICCトラベル гранト」を設定。ホームページの公示と申請書を作成した。学術委員会で選考し、採否を連絡する予定である。

〔審議事項〕

2019ICCトラベル гранトについて、研究助成金を1名につき10万円とし、募集研究数を10名程度とすることについて：可決

計理委員会 (委員長 岡本 愛光)

〔事業計画〕

1. 学会の経理について、正しく運営されるよう確認を行う。
2. 決算案、予算案の作成を行い、春・秋と2回の監査会を行い会員に報告をする。

〔報告事項〕

1. 2019年度の予算案を作成した。
2. 2019年4月17日(水)に監査会を行う予定である。

〔審議事項〕

1. 2019年度の予算案について：予算案については、各費目に関する説明の後、精査の上、全員異議無く承認した。
2. 学会事業で学会員に謝金を支払う場合、マイナンバーの提出を確認してから支払いを行っているが、謝金支払いが滞る原因となっているマイナンバー未提出者の扱いについて：「マイナンバーを未提出の場合、ある一定の期間（3年）が過ぎた場合は細胞学会に寄付をしたものとみなす」という一文を送付し、未払分については学会寄付金として処理することが提案されたが、このような状況で他学会はどのように対応しているかを調べるなどして検討し直す事とした（継続審議）。

編集委員会 (委員長 竹島 信宏)

〔事業計画〕

年間6回の電子ジャーナルの刊行、依頼稿年間6本を予定

〔報告事項〕

1. 投稿論文について

調査対象期間（2019年1月29日時点）

2014年投稿論文：113

2015年投稿論文：75

2016年投稿論文：79

2017年投稿論文：55

2018年投稿論文：47

2019年投稿論文：8

採用率

2014年投稿論文：77.0%

2015年投稿論文：70.7%

2016年投稿論文：65.8%

2017年投稿論文：76.4%

2018年投稿論文：55.3%

2. 株式会社メテオ メディカルオンライン学会誌 57巻第6号・第57回日本臨床細胞学会秋期大会抄録集配信作業の完了

3. 2017年日本臨床細胞学会雑誌第57巻第6号・第57回日本臨床細胞学会秋期大会抄録の発刊 ※雑誌掲載時には、全会員へ一斉メールを送信

4. 投稿論文規定の変更

原著：12名以内

調査報告：10名以内

症例報告：10名以内

短報：6名以内

総説：1名を原則とする

5. 投稿論文数減少に対する対策：細胞診専門医資格認定試験に関連して細胞診専門医委員会で検討頂いた。

〔審議事項〕

投稿者の資格に関して「原則として投稿者は共著者を含め日本臨床細胞学会会員に限る。ただし、画像診断、治療などに直接関わった共著者（2名以内）はこの限りでない」と投稿規定を変更することについて：可決

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤 豪）

〔事業計画〕

2019年細胞診専門医資格認定試験実施

〔報告事項〕

1. E-Learning 問題作成について

(a) ストリーミング配信実施のため、すべての講義で3問ずつ問題を Yes/NO 形式で作成。

(b) 2018 年秋期大会の細胞診専門医セミナー「形態・形質・遺伝子診断の考え方と実際」(伊藤雅文先生)、医療安全セミナー「病理診断・細胞診における精度保証—多数検体を扱う検査センターでの取り組み—」(水口國雄先生)について設問を作成し、あらたに e-learning のコンテンツとして加えた。今後、5 年間プールし、順次更新してゆく予定。

## 2. 2019 年 2 月 10 日 (日) 第 3 回細胞診専門医委員会 (更新審査会)

### (a) 2018 年細胞診資格更新対象者

0594-0683, 1006-1101, 1309-1386, 1588-1646, 1877-2028, 2367-2476, 2766-2849, 3138-3222, 8035-8040

### (b) 更新の条件

・更新審査対象期間 (2015 年～2018 年) に、本法人春期又は秋期大会に 2 回以上出席し、合計で 320 単位を満たす事。なお、前回保留更新だった場合は、345 単位を満たさなければならない。

・2018 年度まで細胞学会年会費を完納している事。

・細胞診専門医会費を次回更新までの期間前納する事 (2019 年～2023 年の 5 年分 10000 円)。

・更新審査料を納入する事 (2018 年時点 10800 円)。

※2015 年～2018 年の間に留学、入院、出産、その他事情のある方は、それを証明する書類を申請書と一緒に提出して頂く。審査会にて審議され、単位控除等判断される。

### (c) 更新結果通知 : 2019 年 3 月中

## 3. 2018 年 12 月 1 日 (土) 細胞診専門医資格認定試験実施

### (a) 試験結果

	合格者数	不合格者数	合格率 (%)
総合科	112	12	90
病理科	87	8	92
婦人科	24	3	89
呼吸器科	1	0	100
消化器科	0	1	0
歯科	14	1	93

### (b) 合否連絡スケジュール

2018 年 12 月 11 日 (火) ホームページ (<http://jscc.or.jp/news/2018drexam/>) に合格者の受験番号を掲載し、2018 年 12 月 25 日 (火) 試験結果を郵送した。

## 4. 2019 年細胞診専門医資格認定試験について

### (a) 日程 : 2019 年 11 月 29 日 (金) 前日準備

2019 年 11 月 30 日 (土) 試験実施

### (b) 場所 : 株式会社 TC フォーラム AP 浜松町 (仮予約済み)

## 5. 2019 年細胞診専門医資格認定試験実施委員長について

2019年及び2020年細胞診専門医資格認定試験実施委員長を山下博先生とし、副委員長の任命は委員長へ一任する。

6. 2019年細胞診資格更新認定証の詳細を決定した。更新完了時にシールではなく認定証を送付する。

〔審議事項〕

1. 細胞診専門医総務選出要綱を内規・申し合せ事項へ追加することについて：可決
2. 細胞診専門医資格認定試験と日本臨床細胞学会投稿論文の在り方に関して、日本臨床細胞学会雑誌又は ACTA へ投稿された論文は受験資格の投稿論文数の 2 編に該当するというインセンティブを与えることについて（2020年の細胞診専門医資格認定試験より実施予定で、本年よりイエローページ等で周知を行っていく）：可決。なお、次の理事会で細則の変更を行う。

施設認定制度委員会（委員長 長尾 俊孝、代理：羽場礼次）

〔事業計画〕

1. 2018年度新規認定施設申請審査会
2. 2018年度新規教育研修施設申請審査会
3. 2018年度施設更新審査会
4. 2018年度教育研修施設更新審査会
5. 2018年度実施調査（内部精度管理ワーキンググループのもとで、2019年7月～9月を目途に実施予定）
6. 外部精度管理〔コントロールサーベイ〕（外部精度管理ワーキンググループの下で、2020年秋に実施予定）
7. 2019年度新規認定施設募集
8. 2019年度新規教育研修施設募集
9. 2019年度認定施設年報提出（2020年3月31日締切）
10. 2019年度教育研修施設年報提出（2020年3月31日締切）
11. 2019年度認定施設更新作業
12. 2019年度教育研修施設更新作業
13. 年報会議2回、教育研修施設WG、外部制度WG

〔報告事項〕

1. 2019年1月29日現在の2017年度施設年報提出状況および2017年度教育研修施設年報提出状況
2. 認定施設・教育研修施設の更新が済んでいない施設（各々8件・38件）については、個別に督促中である。
3. 保険外診療の実態に関する項目を施設への質問項目に加える方針となった。

〔審議事項〕

特になし

## 細胞検査士委員会（委員長 加藤 久盛）

### 〔事業計画〕

#### 1. 2019年度(第52回)細胞検査士資格認定試験

一次試験は2019年10月26日(土)にCIVI研修センター新大阪東において実施する予定。

二次試験は2019年12月7日(土)・8日(日)に東京富士大学において実施する予定。

#### 2. 2019年CT(IAC)資格認定試験

2019年6月15日(土)にAP浜松町において実施する予定。

### 〔報告事項〕

2018年度(第51回)細胞検査士資格認定試験結果は、1次試験が受験者総数593名に対して合格者数347名(合格率59%)、2次試験が受験者総数521名に対して合格者数270名(合格率52%)であった。2018年度(第51回)細胞検査士資格認定試験結果については、養成機関ごとの合格率も集計した。

### 〔審議事項〕

森ノ宮医療大学 細胞検査士養成課程の承認について(2019.3.5細胞検査士委員会メール会議にて承認の意向を確認している):可決

## 細胞検査士資格更新審査委員会（委員長 羽場 礼次）

### 〔事業計画〕

#### 2019年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー（ピンク）

(a) 1830～2067、2693～2912、3667～3931、4726～4941、5619～5812、6370～6573、7209～7449、8159～8317、9152～9364

(b) 更新予定者:1,654人

(c) 2020年2～3月に更新審査予定

### 〔報告事項〕

#### 2018年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー（ブルー）

(a) 0069～0137、0273～0363、0585～0759、1061～1146、1558～1829、2458～2692、3458～3666、4453～4725、5350～5618、6204～6369、6944～7208、7877～8158、8870～9151

(b) 更新対象者:2,068人

(c) 更新審査結果のまとめ(2019年2月17日(日)実施)

審査結果は、更新可1898名(93.4%)、条件付更新可5名(0.2%)、カード等不備有で更新未完了24名(1.1%)、保留更新2名(0.1%)、未申請75人(3.7%)、更新辞退17名(0.8%)、退会済・退会申請中11名(0.5%)であった。

上記の内、カード等不備有で更新未完了の24名には3月上旬に不備及び書類の追加提出について連絡し、訂正を確認後、更新可または条件付更新可とする。

未申請の75名へはレターパックプラスにて最終意思確認をし、期限までに(2019年3月末日)応答の無い者は資格失効とする。

### 〔審議事項〕



特になし

教育委員会（委員長 生水 真紀夫）

〔事業計画〕

1. 細胞診断学セミナーおよび細胞検査士教育セミナー・細胞検査士ワークショップ・細胞検査士養成講習会を企画・実施する。
2. 2020年度実施に向けて、細胞診断学セミナーの改善案を策定する。

〔報告事項〕

2019年度開催セミナー予定

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第128回細胞検査士養成講習会	2019年7月1日(月)～13日(土)	東京医学技術専門学校 伊藤 仁
第44回細胞診断学セミナー	2019年8月8日(木)～11日(日)	東京医学技術専門学校 教育委員長
第77回細胞検査士教育セミナー	2019年8月24日(土)～25日(日)	パシフィコ横浜 岸本 浩次
第78回細胞検査士教育セミナー	2019年9月7日(土)～8日(日)	松下IMPホール 服部 学
第78回細胞検査士ワークショップ	2019年7月(予定)	神奈川県 仲村 武
第79回細胞検査士ワークショップ	2020年2月又は3月(予定)	愛知県 今枝 義博

〔審議事項〕

特になし

渉外・広報委員会（委員長 小田 瑞恵）

〔事業計画〕

1. 雑誌発行時に目次を添えて会員へ広報を行う（一斉メール）。
2. 他学会との会議に参加し、情報を収集・共有することによって、本学会との連携を更にレベルアップする。
3. 広報事業として、学会の存在を更に周知させるために諸団体が開催する公開講座や関連学会を積極的に後援していく。

〔報告事項〕

1. 会員へのメール配信について  
日本臨床細胞学会誌をホームページへアップした際、全会員へ目次等まとめたものを一斉メール

した(2018年9月下旬:雑誌第57巻5号 2018年10月中旬:雑誌第57巻抄録2号 2018年11月下旬:雑誌第57巻6号 2019年1月下旬:雑誌第58巻1号)。

## 2. 他学会等からの共催・協賛・後援に関する申請について

(a) 2018/11/16 東京女子医科大学医学部学務課 鈴木慶太殿より、附属医療施設である八千代医療センターの病理診断科の教授の公募についてHPへの掲載依頼があったが、教官募集については学会としては対応していないとの返答をした。

(b) 2019/2/12 泌尿器細胞診(別府)カンファレンス主催の第12回「泌尿器細胞診報告様式2015」に沿ったワークショップの後援依頼があり、承認した。

(c) 2019/2/15 一般社団法人シンクパールのより、「NIPPON女性からだ会議」への後援名義使用の申請があり、承認した。

(d) 2019/2/20 泌尿器細胞診(別府)カンファレンス主催の第13回「泌尿器細胞診報告様式2015」に沿ったワークショップの後援依頼があり、承認した。

## 3. 他学会等との会議出席について

(a) 一般財団法人医療関連サービス振興会より医療関連サービスマーク認定の調査指導委員の任期満了にあたって次期委員の推薦依頼があり、委員を推薦した。

(b) 一般財団法人医療関連サービス振興会の第73回サービスマーク認定に係る審査調査指導中央委員会に出席(岡俊朗幹事代理出席)した。

(c) 一般財団法人医療関連サービス振興会 平成30年度第3回衛生検査所専門部会に出席した(加戸伸明委員)。

### 〔審議事項〕

細胞検査士会 伊藤 仁会長より子宮の日無料配布冊子(冊子名「まもること」)の作成・印刷の提案を受け、2019年から日本臨床細胞学会が請け負うか否について検討した。本会が学会事業として費用を全額負担して現行と同様の冊子を作成することは困難と判断した。しかし、協賛金等の協力なら可能かもしれないので、細胞検査士会から新たな提案があれば引き続き審議していくこととした(継続審議)。

## 社会保険委員会(委員長 稲山 嘉明)

### 〔事業計画〕

2020年診療報酬改定のための準備を行う。

### 〔報告事項〕

1. 2018年12月、診療報酬改定、第一次提案書を内保連に提出した。

#### 1) 既収載

- ① 細胞診断料、見直し、婦人科細胞診への適用拡大
- ② セルブロック法によるもの、適用疾患の拡大
- ③ 迅速細胞診(検査中の場合)、適用疾患の拡大
- ④ 免疫染色、細胞診標本への適用拡大
- ⑤ 液状化検体細胞診加算の見直し

## 2) 未収載

### ① 細胞診精度管理料

### ② 婦人科子宮頸部細胞診自動判定支援加算

2. 関連9学会へ共同提案を打診中(1月18日現在、5学会から承諾を得ているが、他は未回答)
3. 最終提案書の内保連締め切りは、4月22日の予定である。5月にかけて内保連ヒアリング(と修正)、厚労省ヒアリングは、例年、夏に開催される予定。

#### [審議事項]

1. 婦人科細胞診断料の算定対象の基準(線引き)について(既収載):その対象を「異型扁平上皮細胞以上+頸部異型腺上皮細胞以上+子宮内膜疑陽性以上+特定の感染症」の症例(≒通常、細胞診専門医の鏡検に回される症例)と定めてよいか?これは、全婦人科細胞診の約9%に相当する。約2.8億円増加。;可決

注)本件は、開業医における病理判断料に影響を与えるものではない。

2. 細胞診精度管理料について(未収載):病理診断管理加算(細胞診)の発生しない細胞診検査における質を担保すべく、この管理料の新設を要望する。鏡検精度向上のため、細胞検査士によるダブルチェックを実施する。病理診断管理加算(細胞診)、ならびに、子宮頸部細胞診においては婦人科子宮頸部細胞診自動判定支援加算を算定した場合には算定しない。;可決
3. 婦人科子宮頸部細胞診判定支援加算について(未収載):精度管理上の要望とみなすことができるゆえ、本来、未収載①の要望の中で論じられるべきものと考えられるが、機械による判定支援の側面が付加されているので、従来同様に、引き続き一次スクリーニング陰性症例を対象として申請する。;可決

## 地域連絡委員会(委員長 廣岡 保明)

### [事業計画]

1. 2017年度地域学会・連合会活動報告の回収および集計を行う(締切:2019年3月30日(土))。
2. 子宮頸がん検診推進活動支援について地域学会を通して行うための申請・審査を進める。

### [報告事項]

1. 2017年度都道府県地域連携組織・連合地域連携組織活動報告:報告書提出の案内を2019年1月より開始した。
2. 子宮頸がん検診推進活動(子宮の日)支援について
  - (a) 2018年度の活動支援の申請件数47件:実施内容報告書を提出した地域学会(2018年9月時点で44件)に支援し、助成金の交付は上限5万円。残りの3件は報告書の提出待ち。
  - (b) 2019年度の活動支援の助成金申請書を各都道府県地域連携組織に2019年3月末を提出期限として案内予定。
3. 過去の細胞診定点観測集計結果の論文化について、現在投稿中である。

### [審議事項]

1. 地域連携組織に関する施行細則改定について(会員情報の共有):総務委員会・審議事項3と同じ審議事項;可決

2. 細胞診に関する公益事業（公開講座等）の募集について：以下(a)(b)を可決  
(a) 応募資格に関して、学会員を主体とするが、学会員以外も応募可能なようにする。  
(b) 助成金額に関して、1件につき5万円～20万円程度とし、総額を200万円程度とする。

#### 国際交流委員会（委員長 森谷 卓也）

##### 〔事業計画〕

1. 春期、秋期大会時におけるグローバルアジアフォーラムの支援
2. 日-韓、日-タイ、日-中 合同カンファレンス（合同会議）のサポート
3. IAC2019, ECC2019 のサポート
3. オーストラリアとの交流
4. カンボジアとの交流サポート
5. 国際交流に関わる海外情報の収集および本学会からの発信
6. JH-JSCC Cytology Tokyo Course (2019)の企画、運営

##### 〔報告事項〕

1. 2国間交流について  
(a) 第26回 タイ-日本 細胞診ワークショップ：2019年1月16日（水）～18日（金）にチェンマイにて開催された。会議運営費などの一助として本学会より例年どおり30万円が拠金された。  
(b) 第18回日韓細胞診合同会議：2019年9月7日（土）に平昌で開催予定。  
(c) 日-中交流：第58回秋期大会へはグローバル・アジアフォーラムに招請の予定。日本からの派遣・交流事業を検討中。  
(d) 日-豪交流：第60回総会への招請を依頼中。第58回秋期大会へはグローバル・アジアフォーラムに招請の予定。  
(e) カンボジアからの学術集会への定期的な招請：第60回総会に2名、第58回秋期大会に2名の招請を予定し、予算申請を行う。
2. 国際・アジアフォーラムについて  
(a) 第60回日本臨床細胞学会総会春期大会（会長 竹島信宏）  
開催日：2019年6月7日（金）～9日（日） 開催地：東京  
国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum） 担当：細根勝委員、片山博徳委員  
(b) 第58回日本臨床細胞学会秋期大会（会長 森谷卓也）  
開催日：2019年11月16日（土）～17日（日） 開催地：岡山  
国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum） 担当：広岡保明委員  
(c) 第61回日本臨床細胞学会総会春期大会（会長 佐藤之俊）  
開催日：2020年6月5日（金）～7日（日） 開催地：横浜  
国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum） 担当：未定
3. IAC2019(Sydney)における JSCC Companion Meeting; Education and group studies of clinical cytology: Proposal from Japanese Society of Clinical Cytology を予定。
4. ECC2019(Sweden) における JSCC Companion Meeting (担当: 佐藤之俊); Respiratory cytology

を予定。

#### 5. JH-JSCC Cytology Tokyo Course (2019)について

2019年12月14日(土)・15日(日)に東京でセミナーを開催する。Johns Hopkins 大学からは Syed Ali 先生ほか3名が来日(渡航費は先方自身が負担の予定)。現在、会場の決定、日本人演者の選定とテーマ、参加者数、参加費等について交渉中(日本側窓口:長村、森谷)。

##### [審議事項]

日-中 合同カンファレンスにおける寄付金の必要性について:2国間交流は、これまでに韓国、タイ、中国とそれぞれ合同カンファレンス(または合同会議)として開催してきた。基本的にJSCCの団体が先方国に出向き会を開催する形式で、開催の補助として上限30万円を寄付する形式をとってきた。日-中については、しばらく開催が滞っており、2018年6月に再開したが、先方の病理学会の中にセッションを設ける形となった(こちらの趣旨は再度先方に伝達した)。また、経済的側面からも、日-中のイベントに対し寄付が必要か、再考の必要がある。;継続審議

#### 制度審議委員会(委員長 川本 雅司)

##### [事業計画]

1. 成熟した社会に則した本法人のあり方を常に考え、学会内外から広く意見、提案を聴き、必要な制度改革を提案するとともに、本法人内においては各委員会等からの制度に関するコンサルテーションを受け、必要な提案を行う。
2. 理事会、総会承認に基づく定款、細則改定の実施。

##### [報告事項]

1. 最新の定款、施行細則(2018年11月17日理事会承認版)をホームページに掲載した。
2. 専門医氏名公表をはじめとした会員情報の正確な把握のために必要な制度改革を検討した。

##### [審議事項]

1. 細胞診専門医会総務選出要綱の内規・申し合わせ事項への追加:細胞診専門医委員会・審議事項1と同じ審議事項;可決
2. 地域連携組織に関する施行細則改定について(会員情報の共有):総務委員会・審議事項3、地域連絡委員会・審議事項1と同じ審議事項;可決
3. 個人情報に関する施行細則改定について(個人情報開示を要請できる会員に地域連携組織会長を加える):総務委員会・審議事項3と同じ審議事項;可決

#### 医療安全委員会(委員長 藤井 多久磨)

##### [事業計画]

MSC ホットラインの事例が発生した場合の体制を整えておく(鑑定人およびそれに関する臨時の全域)。

##### [報告事項]

第60回日本臨床細胞学会春期大会において、2019年6月8日(土)15時20分より、水沼直樹先生(弁護士)を演者として医療安全セミナーを開催予定である。

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 伊藤 潔）

〔事業計画〕

1. 第 60 回春期大会（2019 年）では、6 月 8 日 土曜日に倫理委員会指定セミナーの開催を予定している（演者は門田守人先生（日本医学会長））。
2. 第 58 回秋期大会（2019 年）では、倫理委員会指定セミナーを開催の予定である。
3. 倫理指針の改定に伴い、日本臨床細胞学会における学術集会での演題の受付・査読にあたって、倫理的配慮の取り扱いについて検討していく必要があり、委員会として検討していく。

〔報告事項〕

1. 第 57 回秋期大会（2018 年）では、倫理委員会指定セミナーとして、明治大学法学部准教授小西知世先生による講演「臨床細胞学と AI —法の視点からのアプローチ—」を行った。
2. 「『研究発表に当たっての共通倫理ガイドライン』に対するアンケートのお願い」について：日本医学会連合より、2019 年 2 月 1 日（金）に「『研究発表に当たっての共通倫理ガイドライン』に対するアンケートのお願い」が、各学会に届いた（提出期限 2 月 28 日（木））。アンケートの内容は、1）『医共通指針』の作成に向けてのたたき台として日本外科学会の指針をベースとした指針（案）および、2）日本医学会連合・研究倫理委員会による「提言 わが国の医学研究者倫理に関する現状分析と信頼回復へ向けて」（2017 年 7 月）の中での研究倫理に関する「共通の学修の機会」設定の意義に関してであった。青木理事長より倫理委員会でアンケートへの返答を作成するようとの諮問を受け、検討をメール審議で行い、青木理事長の確認・了解を得て提出した。

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 板持 広明、代理：川本雅司）

〔事業計画〕

1. 役員および発表者（非会員含む）の事業活動に係わる COI 状態の判断ならびに助言、指導。
2. 会員個人の COI 申告に関する疑惑が生じた時の調査活動、関係する施設・機関との情報交換、改善措置の勧告に関すること。
3. 2018 年利益相反自己申告書の提出依頼をする。

〔報告事項〕

2018 年度第 2 回理事会にて承認された細胞診断学に関連する医学研究の、利益相反に関する指針の施行細則の改訂を行った。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験審査委員会（委員長 前田 一郎）

〔事業計画〕

臨床試験審査委員会を1回行う。

〔報告事項〕

1. 臨床試験審査を随時行っていく。
2. 国立保健医療科学院から“新規の手術・手技の導入・実施支援に向けて望まれる制度にかんする調査”のアンケート依頼があり、アンケートに答え提出した。

〔審議事項〕

特になし

IAC 連絡委員会（委員長 長村 義之）

〔事業計画〕

1. IAC 試験

IAC Examination Tokyo Japan Saturday, 15. June 2019

Application deadline April 20, 2019

Comprehensive CT(IAC) Exam

Int. Board of Cytopathology Exam

2. ICC 2019 Sydney

抄録締め切り 15 February 2019

<https://cytologyasc.eventsair.com/PresentationPortal/Account/Login?ReturnUrl=%2FPresentationPortal%2Ficc2019%2Fabstracts>

〔報告事項〕

1. 国際細胞学会 ICC について

シドニーでの ICC 2019 で ICC 2025 の開催地が最終決定される予定である。

<https://cytologyasc.eventsair.com/QuickEventWebsitePortal/icc2019/home>

2022 年 ICC の日程と場所は 2022 年 11 月 14 日～19 日、米国ボルチモア市に決まった。2022 年の JSCC 秋期大会の開催日程を 2022 年 ICC の日程から少なくとも 1 週間ずらす方針が確認された。なお、当初予定されていた南アフリカの Cape Town は治安・水不足などを理由に 2022 年 ICC を辞退した。現在、2025 年 ICC を Open bid している。ICC 2019 の際にかかれる IAC 理事会で決定される。

2. 第 42 回ヨーロッパ細胞学会 ECC について

16-19 June 2019 Malmö, Sweden JSCC Companion Symposium を行う

3. IAC companion meeting at USCAP 2019 について

北米病理学会 USCAP National Harbor Maryland USA にて 3 月 16 日から開催され、昨年につき IAC Companion Meeting を行った。

4. IAC-CAP Digital Cytology project について

スライドの Scanning が終わり Johns Hopkins で annotation の作業を行っている。終了次

第” Underserved regions” に向けて Website に公開予定である。

〔審議事項〕

特になし

#### 臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本 勝寛）

〔事業計画〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究（CITRUS study）」（山梨県、千葉県柏市）

(a) 検診受診者の追跡・調査

(b) 中間報告会の開催

2. 日本臨床細胞学会委託事業「シスメックス社の LC-1000（剥離細胞分析装置）」の結果を第 20 回国際細胞学会 LCC2019（2019 年 5 月 5 日から 9 日）で発表予定。

〔報告事項〕

1. 一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診と HPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究（CITRUS study）」（山梨県、千葉県柏市）について

(a) EDC（臨床試験データ登録）システム改変（データ読込、検索、印刷機能の追加）中である。

(b) 協力医療機関向けに「平成 30 年度 CITRUS スタディ参加被験者への対応方法について」を作成した。

(c) 平成 25 年度登録者の 6 年目受診勧奨案内を作成した。

2. 「子宮頸がん疑い患者及び検診受診者を対象とした LC-1000 の有用性に関する臨床試験」について

(a) 終了。

(b) 結果を第 27 回日本婦人科がん検診学会（2018 年 9 月 8 日から 9 日）で発表した。

〔審議事項〕

特になし

#### 細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田 政嗣）

〔事業計画〕

1. 日本専門医機構の動向を把握し、日本臨床細胞学会における細胞診専門医制度について検討していく。

2. E-Learning システム構築と実施。

〔報告事項〕

1. E-Learning システム構築について

2016 年総会（春期大会）以降の DVD 録画してある講演演者に掲載承諾書を書面にて送付し、17 講演中 14 講演の講師より承諾をいただいた。MyPage 改造等具体的な作業の打合せを 1 月 18 日に MyPage 作成・運営会社（マイスワン）と行った。現在 MyPage の改修が完了し、会員 MyPage より



eラーニングサイトに入れるようになっている。2019年2月9日、会員全員に一斉メールにてeラーニング開始のアナウンスを行った。なお、決済方法については契約手続き中の為、現在は視聴のみの試運転中である。

## 2. 外科学会の横断的サブスペシャルティ領域承認について

2018年12月27日に外科学会事務局にて「外科学会 横断的サブスペシャルティ領域」承認に向けたプレゼンテーションを行い、2019年1月23日外科学会会議議事録により「承認」という方針が示された。

3. 教育研修指導医の申請を受け付け中である。

〔審議事項〕

特になし

## 肺がん学会とのワーキンググループ（委員長 渋谷 潔）

〔事業計画〕

日本肺癌学会集団検診委員会喀痰細胞診による肺癌検診小委員会と合同で、喀痰細胞診の精度管理に関する討議を行う。

〔報告事項〕

1. 中山富雄委員が、2018年11月29日（木）～12月1日（土）開催の第59回日本肺癌学会学術総会にて「喀痰細胞診対象者の定義変更に伴う喀痰細胞診の実施状況への影響」として発表した。
2. 引き続き喀痰細胞診検体を用いたデジタル化を浜松フォトニクスとの協力を得ながら進行中である。

〔審議事項〕

特になし

## ゲノム診療時代における細胞診のあり方検討ワーキンググループ（委員長 森井 英一）

〔事業計画〕

細胞診、特にセルブロック検体の作成方法の違いによる核酸の品質検討を行う。

〔報告事項〕

1. 総会にてワークショップを行い、核酸ソースとしての細胞診の重要性について討議した。
2. セルブロック検体作成方法についてのアンケートを作成した。

〔審議事項〕

特になし

## 肺癌細胞診の診断判定基準の見直しに関する合同ワーキンググループ（委員長 佐藤 之俊）

〔事業計画〕

1. 新たな判定基準に基づいたレビューの結果を国際雑誌に発表する。
2. IAC と協力し新たな肺癌細胞診判定基準を提唱する。その内容を ICC2019 Sydney ならびに

ECC2019 Malmöにて発表する。

〔報告事項〕

1. 新たな判定基準を設定し、実際の細胞診標本を用いたレビューを行った。また、ICC2019 Sydney ならびに ECC2019 Malmö における JSCC とのコンパニオンミーティングにて発表の準備を進めた。
2. 2018年11月28日(水)京王プラザホテルにて会議を行った。

〔審議事項〕

特になし

### 審議事項

1. 2019年度の事業計画案について  
2019年度の事業計画案が報告され、内容について詳細に審議した結果、事業項目に特別公募・地域連携講座・トラベルグラントを組み込んだうえで、全員異議なくこれを承認した。
2. 2019年度の収支予算案について  
2019年度の収支予算案及び収支予算内訳表が提示され、詳細に審議した結果、満場一致でこれを承認した。
3. 2019年度の資金調達および設備投資の見込み案について  
2019年度の資金調達および設備投資の見込みについては、ともに無い旨の報告がされ、全員異議なくこれを承認した。
4. 役員選挙について：本理事会で次期理事長として佐藤之俊先生が選出された。
5. 学術集会長を現行より半年前倒して決めることについて：可決
6. デジタル化に関して、本学会としてワーキンググループを立ち上げて検討していくことについて：可決

以上で本理事会の議題が終了し、加来副理事長の閉会挨拶をもって本理事会を終了した。

2019年 6月 17日

この議事録が正確であることを証します。

理事長

青木大輔 

監事

佐々木寛 

監事

土屋真一 